

屋久島高校2年生が

森林植生調査を学習

平成 25 年 7 月 17 日(水)、屋久島高校普通科環境コースの2年生8人が夏季宿泊研修の一環として愛子岳国有林で照葉樹林の植生と調査方法を学習しました。当センターからは前田所長、小薄専門官、小口臨時職員の3人が講師として参加しました。愛子岳では標高差200mごとに1000m地点まで5カ所のプロットを設定し、平成13年度から植生の垂直分布を5年ごとに調査しています。今回の学習は垂直分布の中でも照葉樹が広がる標高200m地点をフィールドに行いました。



垂直分布の概要説明する前田所長

森林の植生調査では、通常プロット内の樹木の直径、樹高、位置、樹冠幅などを1本ずつ

調査する毎木調査を行い、上層、中層、下層ごとにどのような樹木が分布し、下層にどのような草本植物が分布しているかを記録します。また、これらのデータを基に森林を上から見た樹冠投影図や横から見た縦断面図を作成し、森林の構造を記録します。

野外調査では、このように森林の構造がイメージできる図を作成し記録することが重要になります。

今回の学習会では、これらの調査方法と分析方法を主に生徒たちに学習してもらいました。

亜熱帯から亜寒帯までの多様な植生が分布する屋久島には、毎年多くの研究者が来島し調査を行っています。この恵まれた環境で学ぶ屋久島高校生の中から自然科学分野で活躍する研究者や仕事に就く人が現れることを是非期待したいと思います。

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部地域における天然林の更新動態調査(平成21年度) I 下層植生(稚樹)の動態調査～摂食調査結果～

前回(平成19年度)ヤクシカの嗜好性の高い植物については、今回も引き続き摂食を受けていた。嗜好性の高いウバメガシやウラジロガシ、スダジイ、マテバシイ等のブナ科植物は照葉樹天然林を代表する高木性樹種であり、将来は高木層における優占種となる種であるが、これらの樹種の実生苗や萌芽枝は、プロット及びその周辺に生育していないほどの摂食を受けていた。また、嗜好性の低いと考えられていた植物も摂食が確認され、ヤクシカの頭数が増加し、食べる植物が少なくなっているのではないかと考えられ、いずれはヤクシカの食べない植物のみで下層植生が形成される可能性があることが示唆される。次世代の高木層を形成する植物が成長していないことは、照葉樹天然林としての健全な更新に著しい障害を来していると言える。そのため今後も数年に1度の頻度で同様のモニタリングを実施し、照葉樹天然林やヤクタネゴヨウ天然林の更新動態を観察して、著しい変化や被害、更新阻害が生起する前に、迅速な対応策を検討することが望まれる。なお、ヤクシカについてはその実態の解明と対策のための基礎資料を得ることを目的に今年度屋久島の西部地域を対象とした「平成21年度野生鳥獣との共存に向けた生育環境等整備調査(九州森林管理局)」が実施されている。

また、ヤクタネゴヨウの実生苗に関して、今回は全プロットにおいての設定時からの3ヶ月間摂食を受けず、また前回と相違し乾燥による萎れ害(萎凋害)を受けることなく生育していることが確認された。このことより、ヤクタネゴヨウは乾燥した場所を好む樹木であるが、実生苗の段階においては、実生展開直後(活着直後)の12～2月期に、ある程度の降雨が必要であることが示唆された。ただし、発見されたヤクタネゴヨウの実生苗のほとんどは当年生苗ばかりで、2年生、3年生の実生苗はほとんど見られなかった。ヤクタネゴヨウの採種林・見本林では、ヤクシカによるヤクタネゴヨウ低木への摂食が確認されていることから、継続的なモニタリングが不可欠である。



植生調査の説明に耳を傾ける生徒ら

屋久島の植物



ヒメノボタン (ノボタン科)

紀伊半島以南に分布する多年草。日当たりの良い草地に生える。茎は高さ30～50cm、葉は対生で平行脈が目立つ。花は直径3cmほどで花弁は4枚、紅紫色。枝先に集まり、ほとんど無柄。
 花期8～9月

「夏休みの安全パトロール」開始

夏休み期間は登山者の増加が見込まれることから例年、屋久島山岳部利用対策協議会では、縄文杉への森林パトロールを行い登山者へ安全の呼びかけや登山マナーの指導を行っています。

降好天の日が続く、例年にならない酷暑の夏となっています。登山者の方々には、事前に水場の情報を確認するなど「安全第一」に、無理のない計画での登山をお願いいたします。

屋久島森林生態系保全センターでは屋久島森林管理署と協力し7月23日～8月31日の間、縄文杉登山者への指導に加え、淀川登山口、宮之浦岳、ヤクスギラン、宮之浦岳、千尋滝展望所、ドク太忠岳、千尋滝展望所登山口、本富岳など主な6つのコースのパトロールを計画。7月31日は永田岳までのパトロールを行い、危険箇所の点検や、登山者へ安全の呼びかけを行いました。当月も引き続きパトロールを実施し、安全の呼びかけを行うこととしています。



永田岳までをパトロールする職員



もり 森林で学び

もり 森林を楽しむ

参加者
募集中

～森林のスペシャリストがプロデュースする、わくわくの1日～
“自然散策”や、“葛(かずら)でのかご作り”に興味があるお友達、集合!!

屋久島森林生態系保全センター職員(森林インストラクターの資格保持者も在籍)が講師となり、わくわくがぎゅぎゅっと詰まった「夏休み森林教室」を開催します。

当センター職員らが伝授する屋久島ならではの森の楽しみ方や、天然の素材「葛(かずら)」を使ったかご作り体験は、「いいね!」と叫びたいこと間違いなし!夏休みの課題製作にも、最適です。

暑い夏一、森林や国有林に熱い想いを馳せながら、学び・楽しむ一日を過ごしませんか?

[共催]屋久島森林生態系保全センター、屋久島森林管理署、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

そもそも
「森林教室」ってなあに?

身近な自然から、森林が今どのような状態になっているのか、森林が私たちの暮らしにどのように関わっているのか、私たちは森林とどのようにつきあっていけばよいのかを楽しく学び、考える場が「森林教室」です。

〈お問い合わせ〉

屋久島森林生態系
保全センター

TEL 0997-42-0331

森林に生まれ、
森林にこがれ、
森林に希望を託す

【日時】 8月24日(土) 8:15～17:00

【開催場所】 屋久島森林生態系保全センターおよび、ヤクスギランド

【募集人員】 小学生と保護者 先着10組程度

【参加費】 100円/1人(傷害保険料含む)

【集合解散】 屋久島森林生態系保全センター

〈所在地〉 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 1577-1

【申込方法】 お電話でお申し込みください(受付平日 8:30～17:00)

屋久島森林生態系保全センター TEL 0997-42-0331

【担当】 前田三文 / 猪島浩晴

【申込締切】 8月16日(金)

【行程】 屋久島森林生態系保全センター集合 8:15

屋久島森林生態系保全センター出発 8:30

ヤクスギランド着 9:45

～自然散策～(昼食を含む) 9:45～12:30

ヤクスギランド発 12:30

屋久島森林生態系保全センター着 13:45

ネイチャークラフト(葛でかご作り) 14:00～17:00

【その他】

- ・ 当日の昼食、飲み物は各自でご持参ください。
- ・ 服装は、長袖シャツ、長ズボン、運動靴が適切です。帽子、雨具もご準備ください。(小雨決行)
- ・ 「当センター」から「ヤクスギランド」の移動はバスを準備しています。